

教科目標

- (1) 音楽の曲想と構造や背景などとの関わりや多様性を理解する。音楽表現では、創意工夫するために必要な技能（歌唱、器楽、創作）を身につける。
 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫すること、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 (3) 自ら進んで活動し、他と協力しながら（主体的・協動的に）取り組む。音楽活動の楽しさを体験し音楽文化に親しむ。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 音楽の曲想と構造や背景、多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の要素やその関連性、働きを感じ取っている。 感じ取ったことをどのように表すか、思いや意図をもっている。 音楽のよさ、美しさを自分なりに評価しながら味わったり、聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動を楽しみながら、主体的、協動的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元（題材）名 ※ 【】内数字は配当時数	単元（題材）の目標	観点ごとの評価場面 評価方法（評価資料）
4	○日本の歌のよさや美しさを理解して歌唱表現を工夫しよう。（「花」）【2】	①曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②旋律、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協動的に取り組もうとしている。	
5	○リズムを感じ取って表現を工夫しよう。（リズム創作）【3】	①リズムと曲想の関わりについて理解し、創作に必要なリズムの選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	定期テスト ワークシート 実技テスト
		②音色、リズム、強弱を知覚し、感じ取る。それをどのように表現するか、思いや意図をもっている。	
		③曲想とリズムとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協動的に取り組もうとしている。	
6	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう。（「ブルタバ」他）【3】	① 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。創意工夫に必要な奏法、技術を身に付けている。	定期テスト ワークシート
		② 旋律、構造、構成を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		③ 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協動的に取り組もうとしている。	
7 9	○全体の響きや各声部の役割を生かして歌唱表現を工夫しよう。（合唱曲）【9】	① 全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱表現している。	定期テスト ワークシート 実技テスト 授業観察
		②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。	
		③曲想と歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的協動的に取り組もうとしている。	

10	○ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 (ジャンル、社会の中の音楽) 【3】	①音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート 授業観察
		② 知覚し、感じ取ったことと関連させながら、社会における音楽の意味や役割について考えている。	
		③ 音楽の特徴と背景となる文化や歴史に関心を持ち、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
11	○日本の伝統音楽の特徴を理解してその魅力を味わおう。「能」「雅楽」 【3】	①音楽の特徴と、その背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	定期テスト ワークシート 授業観察
		②音色、リズム、速度を知覚し、感じ取ったことと関連させながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
		④ 背景となる文化や歴史に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている。	
12	○弦楽器の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう。 (箏)【5】	①楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。演奏するために必要な奏法、技能を身に付ける。 ②楽器表現に関わる知識を得たり、楽器の特徴を生かしたりしながら表現を創意工夫している。 ③器楽表現を楽しみながら、主体的協働的に取り組もうとしている。	定期テスト 実技テスト ワークシート 授業観察
1 2 3	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。 【2】	①音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて理解している。演奏に必要な奏法、技能を身に付ける。 ②音色、旋律、テクスチャを知覚し、感じ取り、そのよさや美しさを味わって聴いている。 ③音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などについて関心を持ち、主体的に活動に取り組もうとしている。	定期テスト 実技テスト 授業観察
		①混声合唱の響きを感じ取り、各パートの役割を理解する。 ②練習を通して、思いや意図をもった表現の仕方を工夫する。 ③曲想と歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に取り組もうとしている	
		○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう (卒業式歌 合唱曲)【5】	

定期テスト範囲 (予定)

1学期中間テスト	1学期期末テスト	2学期中間テスト	2学期期末テスト	学年末テスト
	<ul style="list-style-type: none"> ・「花」 ・リズム創作 ・「ブルタバ」他鑑賞曲 ・楽典 		<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲 ・器楽 ・ポピュラー音楽 ・「能」「雅楽」「箏」 ・楽典 (3年間のまとめ) 	なし

学習上のアドバイス

授業について

- ①プリントなどの提出物は、必ず期日を守りましょう。
- ②表現活動は積極的に取り組み、発言も進んでするようにしましょう。
- ③筆記用具はパート練習などの時も持っていき、授業中に受けたアドバイスは楽譜に書き込みましょう。

家庭学習のアドバイス

①提出物などは丁寧に仕上げましょう。

②曲は、インターネットなどで聴けるものも多くあります。授業で扱った以外にも色々な音楽を積極的に聴いてみましょう。

その他

①A4サイズが入る手提げバッグを用意してください。教科書、ファイル、ワーク、などを入れたまま教室に置いておいてかまいません。

②器楽の教科書とファイルは引き続き使用します。名前を油性マーカーで書いて、丁寧に扱きましょう。消えてしまったら、書き直してください。